

式 辞

先週は、あたたかな日が続き、中庭にある梅の花が一斉に咲き、春らしい香りを漂わせていました。春の足音が一步ずつ近づいています。

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。先ほど、みなさんひとりずつに、本校での教育をすべて修了し卒業した証となる卒業証書をお渡ししました。

未知のウイルスへの対応のため三月は急遽休校となり、みなさんの心情を思うと本当に切ない気持ちになります。しかし、卒業証書を堂々と受け取る姿を見て、みなさんはどんな困難にも負けず未来を切り拓いていく力を手に入れているのだと、うれしく思っています。ご来賓として参列されるはずであった地域の方々、在校生にも、みなさんの晴れの姿を見ていただきたかったと思います。

さて、卒業生のみなさん。みなさんとは一年間だけでしたが、一緒に楽しい時間を過ごさせていただきました。

卒業生のみなさんは、毎朝笑顔であいさつをしてくれました。毎朝昇降口をきれいにそうじしてくれました。全校が笑顔になるようにと、自主的に取り組んだ児童会活動。運動会を成功させるためがんばった係活動、心ひとつになって演じた組み体操。何でも見て吸収しようとしていた修学旅行。思い出すのは、元気で明るい笑顔です。その笑顔が学校中を元気に明るくしてくれました。みなさんは本校のすばらしい最高学年でした。本当にありがとう。

すばらしいみなさんともいよいよお別れです。名残惜しい気持ちを抑えつつ、みなさんの旅立ちにあたり、お別れのことばを贈りたいと思います。

「全力と寛容」です。

何事にも全力で向き合うことが、人を感動させ、物事を成し遂げます。「ウサギとカメ」のお話で、カメは全力でゴールに向かったから、ウサギに勝てたのです。スポーツ選手が全力で向かっていくからスポーツの試合は感動するのです。

寛容、許す心でもあります。人生誰でも失敗します。一度失敗したからといって、その後の全てが失敗するわけではありません。他の人の失敗を許し、「大丈夫、一緒にがんばろう」と声をかけられる広い心、寛容さをもってください。

多くの方はすでにわかっていることだと思います。戸倉小学校を卒業しても、全力と寛容を忘れずに人生を歩んでくれることを願っています。

保護者のみなさま、お子様のご卒業、本当におめでとうございます。ウイルス感染予防のため、卒業式がこのような形での挙行となりましたこと、私自身、悔しく断腸の思いがあります。みなさま方のご協力により、卒業生一人ひとりに卒業証書を渡すことができました。ありがとうございました。また、今日までの六年間、子ども達をあたたかく見守り育てていただくと共に、本校の教育活動にご理解とご支援いただきましたことに重ねて感

謝申し上げます。

さて、思いはつきないわけですが、お別れの時となりました。卒業生のみなさん、6年間、みなさんを支えてくださった、ご家族、地域の方々、先生方はじめ、全ての方に感謝の気持ちを忘れずに、戸倉小学校の卒業生であることに誇りをもって、中学校生活を自分たちの手で輝くものにしてください。

みなさんの、健康と活躍を願って、式辞といたします。

令和二年三月十八日

千曲市立戸倉小学校 校長 宮原明人